

# 感染症・ウイルス検査

## 梅毒血清反応

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3502	RPR(定性) (STS定性) 5E074-1351-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	15 免疫	LA	(-)	髄液では検査不可	<b>【陽性】梅毒の感染</b> (急性期、持続感染、既往感染)  *STS陽性、TP抗体陰性のときは、 生物学的偽陽性とする。 *生物学的偽陽性が認められる疾患等 ライム病、レプトスピラ病、回帰熱、 ハンセン病、結核、肺炎球菌性肺炎、 心内膜炎、マラリア、 マイコプラズマ肺炎、伝染性単核症、 肝炎、輸血、 リウマチ性心疾患、妊娠、高齢者、 ワクチン接種、シヤギン、 自己免疫性疾患、ウイルス感染症、 グロブリン製剤投与時など
3504	TP抗体(定性) 5E075-1351-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	32 免疫	LA	(-)	髄液では検査不可	
3507	RPR(定量) (STS定量) 5E074-1352-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	34 免疫	LA	1.0未満 R.U.	髄液では検査不可	
3509	TP抗体(定量) 5E075-1352-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	53 免疫	LA	10未満 T.U.	髄液では検査不可	
3505	FTA-ABS(定性) 5E079-1351-023-161	血清 0.3	1	冷蔵	4~5	134 免疫	FA	陰性(-)		<b>【陽性】不顕性梅毒</b> 梅毒の初期感染 先天性梅毒  *FTA-ABS-IgMが最も早く (約2~3週間で陽性)、 その後STSやFTA-ABSになり、 少し遅れてTPHAが陽性となる。
3796	FTA-ABS IgM(定性) 5E080-1351-023-161	血清 0.3	1	冷蔵	4~5		FA	陰性(-)		
3510	FTA-ABS (半定量) 5E079-1353-023-162 5E079-1353-041-162	血清 0.3	1	冷蔵	4~5	134 免疫	FA	20未満	倍	
7255		髄液 0.5	3 5					1未満	倍	
3885	FTA-ABS IgM(半定量) 5E080-1353-023-162	血清 0.3	1	冷蔵	4~7		FA	20未満	倍	

※梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量は、従来の梅毒沈降反応(RPR法等)をいい、梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量ごとに梅毒沈降反応を併せて2種類以上ずつ行った場合でも、それぞれ主たるもののみ算定する。

### 梅毒検査の結果解釈

STS	TP抗体	結果解釈
(-)	(-)	未感染(非梅毒) 稀に感染初期
(+)	(-)	感染初期 生物学的偽陽性(BFP)
(+)	(+)	梅毒(非治癒) 治癒後(抗体保有者)
(-)	(+)	治癒後(抗体保有者) TP抗原法(反応系)での偽陽性